

かさ ぼこ  
**笠鉾大解剖 3**

そ てつ せい おう ぼ  
**— 蘇鉄と西王母 —**

**2/5(金)～3/21(日)** (月曜は休館)  
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料

一般 400 円 (320 円)  
高大生 300 円 (240 円)  
中学生以下と障がい者手帳を提示の人は無料  
※( ) 内は 20 人以上の団体料金

問合せ 市立博物館 ☎34-5555

**笠鉾を受け継いできた  
町の人たちの思いを感じる展覧会**

笠鉾をバラバラにして構造と装飾のヒミツに迫る！

冬の展覧会は笠鉾大解剖シリーズの第3弾です。今回は蘇鉄と西王母を紹介します。

組み立て式の笠鉾は、200～300の部材があります。それら部材の一つ一つを細かく見ていくと、笠鉾の構造の秘密や先人の知恵と工夫などを知る手がかりを見つけることができます。また、部材に記された記録からは、笠鉾に込められた人々の思いもうかがうことができます。9基の笠鉾の中でも古い形を残している蘇鉄と西王母の部材にはどんな秘密が隠されているのでしょうか。妙見祭がユネスコ無形文化遺産に登録されて5年。今一度笠鉾について深く知ってみませんか。

昨年3月に完成した笠鉾蘇鉄の水引幕を初めて公開します。新旧の水引幕をじっくり見比べることができるのは、今回は最初で最後の機会かもしれません。ぜひお越しください。

特別講演会

**と き** 2月14日(日)  
午後2時～3時30分  
**と ころ** 市立博物館 講義室  
**演 題** 「笠鉾のヒミツに迫る！」  
～笠鉾蘇鉄と西王母を中心に～  
**講 師** 早瀬 輝美(本館学芸員)  
**定 員** 30人(申し込み先着順)  
※電話での事前申し込みが必要です  
**申込先** 市立博物館  
**申込期間** 2月1日(月)～  
定員に達し次第締め切ります  
**申込受付時間** 午前9時～午後5時

**笠鉾 蘇鉄 (二之町)**



蘇鉄は、鉄を与える<sup>そてつ</sup>と樹勢<sup>よみがえ</sup>が甦るといわれますが、葉の形が聖天子誕生を知らせる鳳凰の尾の形に似ているということから鳳尾蕉の別名もあります。

かつては「諫鼓」の飾りもあり、「蘇鉄」と交互に使用されていました。どちらも天下泰平の意味があり、笠鉾の装飾もめでた尽くしとなっています。

**笠鉾 西王母 (通町)**



西王母は崑崙山<sup>こんろんざん</sup>という山に住む女神です。西王母が住む庭の桃は、3000年に一度花を咲かせ実をつけるといわれ、不老長寿の象徴ともなっています。

西王母は、笠鉾上部の「笠」の部分がすべて組み立て式で、最も古い形を残しています。他の笠鉾も、かつては同様であったと思われ、笠鉾の変遷を考える上でも非常に貴重です。

**新調された水引幕初公開**

明治32年から令和元年まで、120年にわたって使用された蘇鉄の水引幕が昨年に復元新調されました。



新型コロナウイルス感染症感染防止のため、来館の際は手指消毒・マスクの着用をお願いします。発熱や咳などの症状がある人は、来館を控えてください。